一般社団法人川崎地方自治研究センター

２０２３年度定期総会資料

２０２３年９月２６日（火）１８時３０分～

市労連会館５階講堂

次第

1. 開会
2. 総会成立の確認
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出
5. 理事長挨拶
6. 議事
（1） 第 1 号議案 2022 年度事業報告
（2） 第 2 号議案 2022 年度決算報告
（3） 第 3 号議案 2022 年度監査報告
（4） 第 4 号議案 役員選任
7. 報告
（1)2023 年度提案事業募集について
（2)2023 年度役員・事務局体制について
（3)2023 年度事業経過・予算執行経過

【参考】会員名簿

(1) 団体正会員

川崎市職員労働組合・川崎市立病院労働組合・川崎市下水道労働組合・川崎交通労働組合・川崎水道労働組合・川崎市教職員組合・川崎市消防職員協議会・川崎市労働組合連合会・川崎地域連合・かわさき生活クラブ生活協同組合・みらい川崎市議団・川崎市職員厚生会・川崎市職員共済組合

(2) 賛助会員

社会福祉法人青丘社・川崎市職員退職者会

(3) 個人会員

江口　真也	服部　善彦	大坪　孝徳	髙橋　　弘	渡邉　栄一
渋谷　勝美	谷本　英彰		久能　力也	青木　優樹
伊東　研吾	小川久木生	迎　　隆司	津田　　淳	黒田　　努
岡﨑　慎一	武井真由美	田端　明彦	横山　拓未	
青木　茂夫	星野　修美	森山　定雄	峰岸　是雄	竹本康一郎
石垣喜久雄	堀添　　健	露木　明美		

【議案事項】

2022年度事業経過報告

期間：2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日

はじめに

コロナ禍は 3 年以上にわたり、全世界の市民生活に影響を及ぼしました。日本では、アベノミクスによる経済政策の失敗も重なり、沈んでいた経済を立て直す意図から 5 月連休明けからコロナ対策が解除され、通常の経済活動に戻りつつあります。しかしながら、人々の交流が盛んになれば再びコロナ禍に見舞われることが予想され、今後とも予断は許しません。

コロナ禍の影響で、当センターも事業執行が制約されましたが、他団体との連携を強めて諸活動を進めてまいりました。

諸情勢をみますと、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した戦争は長期化し、冷戦構造に戻ったかのように東西対立がむき出しになってきました。戦争は世界経済に大きな影響をもたらし、エネルギー不足や物流の停滞が起きています。また日本経済は円安、物価高傾向にあり、市民生活を脅かしています。

そして、今夏も日本列島は豪雨、猛暑に見舞われて、地球温暖化による気候変動は生命の危機すら感じさせます。

昨年 7 月の参議院選挙中に起きた安倍元総理の狙撃事件は、カルト集団と目される旧統一教会と自民党をはじめとした政治家との癒着が明らかになり、政治と宗教の関係が大きな問題になっています。また 4 月の統一自治体選挙中に岸田総理が爆弾テロに遭うなど、民主主義の危機といわれています。

統一自治体選挙は、川崎市では中原区・高津区を選挙区とする山際大志郎衆議員議員が旧統一教会から大きな支援を受けていたことが明らかになり経済再生担当大臣を辞任することになりました。その後の調査でも数名の地方議員が旧統一教会と関係を持っていたことが明るみになりました。その結果、川崎市議会選挙は、労働組合が支援する候補者は健闘し 4 名の増を勝ち取り、自民は山際議員の選挙区である中原区、高津区で現職を落とし 2 名減になりました。大阪維新の勢いを受けて神奈川県内でも 2021 衆院選、2022 参院選で勢力を伸ばした維新は 7 名の市議会議員を誕生させましたが、当選後最初の 2023 年第 2 回市議会終了後、現職と元職議員が会派を離脱して分裂して 5 名の新人議員が残りました。

先行きの不透明感のなかで、市民生活も不安を余儀なくされていますが、今一

度、杉並区で取り組まれようとしているミュニシュパリズム（地域主義）などの動きを参考に、地方自治、地方分権に向けて当センターの地道な取り組みが求められています。

1. 会議等

(1)2022 年度定期総会

9月 15 日（木）18 時 30 分～　市労連会館 5 階講堂
2021 年度事業報告・決算報告
役員改選

(2)理事会

・第 1 回理事会　8 月 29 日（月）18 時～　市労連会館 5 階会議室
2021 年度事業報告・決算報告・役員体制案
・第 2 回理事会　9 月 15 日（木）19 時 30 分～　役員体制承認
・第 3 回理事会　7 月 27 日（木）18 時～　市労連会館 5 階講堂
2023 年度事業計画・予算案審議

(3)事務局会議

・第 1 回　8 月 18 日（木）13 時 30 分～　市職労会議室
・第 2 回　2 月 21 日（火）13 時 30 分～　市職労会議室
・第 3 回　4 月 27 日（火）13 時 30 分～　市職労会議室
・第 4 回　7 月 5 日（木）13 時 30 分～　　市職労会議室

2. 地方自治総合研究所

・研究助成費の交付

自治労会館の 2022 年度助成について、「新百合ヶ丘の芸術のまちづくり」をテーマに申請したところ、地方自治総合研究所で審査した結果、助成の対象と決定され、年額 30 万円の交付金を受領しました。

・第 39 回自治労自治研究全国集会

10 月 7 日（金）～8 日（土）　静岡県内で開催
7 日（金）18 時 15 分～　自治研センター交流会　中島屋グランドホテル

3. 神奈川県地方自治研究センター

●理事会･総会

･総会

第 28 回定時総会　3 月 2 日（木）11 時～　神奈川地域労働文化会館
第 29 回定時総会　　6 月 29 日（木）14 時 30 分～神奈川地域労働文化会館

･理事会

第 46 回理事会　2 月 17 日（金）11 時～　神奈川地域労働文化会館
第 47 回理事会　6 月 2 日（金）11 時～　神奈川地域労働文化会館

●第 4 次人口減少問題研究会【デジタル時代のまちづくりと地域交通政策】

【研究会構成】
佐野充（神奈川県地方自治研究センター理事長）チームリーダー
杉渕武（自治体学会事務局長）座長
其田茂樹（地方自治総合研究所研究員）
熊谷隆一（山梨県立大学教授）
中村文彦（東京大学特任教授）
藤井敬宏（日本大学教授）
谷本有美子（法政大学准教授）
畠山輝雄（鳴門教育大学准教授）
田中絵里子（日本大学准教授）
牛垣雄矢（東京学芸大学准教授）
菊池浩紀（日本大学理工学部助手）
梅谷英昭（自治労神奈川県本部副委員長）
座本将之（自治労神奈川県本部政策局長）
野口鉄平（神奈川県地方自治研究センター研究員）
野坂智也（神奈川県地方自治研究センター事務局長）
板橋洋一（川崎地方自治研究センター理事長）

・第 2 回研究会　8 月 24 日 14：00～　神奈川県自治研センター
講演「MaaS によるまちづくりと都市交通の現状と今後のあり方」
講師　中村文彦（東京大学特任教授）
・第 3 回研究会　9 月 29 日（木）14：00～　神奈川県自治研センター
講演「地域交通の視点から地域の人口減少問題に取り組むための問題提起」
講師　杉渕武（研究会座長）
・第 4 回研究会　12 月 12 日（木）14：00～　神奈川県自治研センター
講演「コンパクトシティと人口減少問題」

講師　菊池浩紀（日本大学理工学部）
講演　補論「コンパクトシティという概念」
講師　杉渕武（研究会座長）
第5回　4月30日（日）13時～　　新百合ヶ丘駅
新百合ヶ丘駅周辺フィールドワーク
研究会　川崎市アートセンター
第6回　5月15日（月）14時～　神奈川県自治研センター
「自治体が取り組む自動運転車の現状と将来について」
藤井敬宏(日本大学理工学部教授)
第7回　6月1日（木）14時～　神奈川県自治研センター
「神奈川県内の地域分析から公共交通のあり方を考える」
畠山輝雄（国立大学法人鳴門教育大学」大学院学校教育研究科社会科教育コース准教授）
第8回　7月25日（水）14時～　神奈川県自治研センター
「アクアライン開通後　おける木更津市の地理的口調・構造と地域的課題
―特に交通的・人口的・商業的工面　中心に神奈川県との関係を踏まえて」
牛垣雄矢（東京学芸大学准教授）

●現代の地方自治研究会
2月28日（火）13時～　地域労働文化会館
これからの地方自治における「住民」
金井利之（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

●地方自治と人権施策を考える研究会
【研究会構成】
佐野充（神奈川県地方自治研究センター理事長）チームリーダー
武部佑司（自治労神奈川県本部副委員長）
座本将之（自治労神奈川県本部政策局長）
松元好史（自治労神奈川県本部組織局長）
高尾真（自治労神奈川県自治体労組書記局労働組合委員長）
浪川勇（自治労神奈川県自治体労組書記局労働組合書記長）
金秀一（自治労神奈川県本部書記）
岩沢弘秋（横浜自治研センター副理事長）
堀添健（川崎市議会議員）
大矢徹（藤沢市議会議員）
金子冨貴男（相模原市議会議員）

野口鉄平（神奈川県地方自治研究センター研究員）
野坂智也（神奈川県地方自治研究センター事務局長）
板橋洋一（川崎地方自治研究センター理事長）

・第 1 回研究会
日時　11 月 14 日（月）14：00～神奈川県自治研センター
研究会趣旨および研究会構成について
講演　「鎌倉市議会差別発言事件判決の意義と課題」
講師　西川治弁護士（神奈川総合法律事務所）
・第 2 回研究会
日時　12 月 1 日（木）14：00～神奈川県自治研センター
講演　「包括的な人権擁護施策とは一運動経験を通じてー」
講師　板橋洋一（川崎地方自治研究センター理事長）
・第 3 回研究会
日時　12 月 15 日（木）15：00～　神奈川県自治研センター
講演「相模原市における人権条例制定の動向」
講師　金子冨貴男（相模原市議会議員）
・第 4 回研究会　2023 年 1 月 13 日（金）14：00～　神奈川県自治研センター
「包括的差別禁止条例を求める要求案及び春闘要求案文など」
・第 5 回研究会　3 月 6 日（月）15 時～　神奈川県自治研センター
「被差別部落認識の歴史と現在」
根本信一（部落解放同盟神奈川県連合会執行委員長）
・第 6 回研究会　6 月 23 日（金）10 時～　神奈川県自治研センター
「ビジネスと人権時代の公共調達の役割」
上林陽治立教大学社会福祉学部特任教授

●研究講師団会議

日時　2022 年 12 月 22 日（木）14:00～　神奈川県自治研センター
鼎談　「地方自治の 20 年を振り返る」
青山彰久（ジャーナリスト）
上林得郎（神奈川県自治研センター顧問）
佐野充（神奈川県地方自治研究センター理事長）

●自治労地域･自治体政策学習会

1 月 20 日（金）14 時～神奈川地域労働文化会館
「自治労地域・自治体政策集」から”路上の自治体政策“へ
シンポジウム

基調　菅原敏夫（元自治総合研究所研究員）
「市民と労働者をつなぐ地域・自治体政策の３つのポイント」
上林得郎（神奈川県自治研センター顧問）
「神奈川における政治・議会・政策」
板橋洋一（川崎地方自治研究センター理事長）
「川崎のまちづくりと自治体政策」
ファシリテーター
佐野充（神奈川県地方自治研究センター理事長）

●自治体労働政策シンポジウム
2 月 17 日（金）18：00～20：00　神奈川県地域労働文化会館
テーマ：格差に挑む
講師
上林陽治さん（立教大学コミュニティ福祉学部特任教授）
「格差に挑む自治体の三つの役割」
原田晃樹さん（立教大学コミュニティ福祉学部教授）
「社会的価値を反映させた公共調達の可能性」
野口鉄平さん（神奈川県自治研センター研究員）
「公契約条例がめざす働く人の支え」

4. 啓発及び調査・研究事業

(1)クォータリーかわさきの発行

●No.23　11 月 8 日発行
・新しい民主主義への挑戦「脱炭素かわさき市民会議」がめざしたもの
　竹井斎脱炭素かわさき市民会議実行委員長に聞く
・2022 参議院選挙報告
・自治研センター活動日誌
・川崎市の動き

●No.24　1 月 6 日発行
・続「脱炭素かわさき市民会議」がめざしたもの
―川崎市「脱炭素計画」と市民提案の比較分析を通して
　柳下正治（一社）環境政策対話研究所代表理事
・自治研センター活動日誌
・川崎市の動き

●No.25　4 月 24 日発行
・「特別市」構想とは何か　大都市制度の見直しが問われるなかで
　　大矢野修自治研 C 主任研究員
・自治研センター活動日誌
・川崎市の動き

●No26　7 月 24 日発行
・統一自治体選挙報告
・おすすめの本　「女性公務員のリアル」佐藤直子著（川崎市職員）
　　「佐原の山車祭り」大矢野修著
・自治研センター活動日誌
・川崎市の動き

(2)子どもの権利に関する事業委託
子どもの権利に関する事業を、包括的に（一財）川崎教職員会館に委託しました。

(3)子どもの権利条約フォーラム in 沖縄について
日時：12 月 10 日（土）～11 日（日）会場：沖縄大学
・7 月 9 日（日）10 時～　報告集会　こども夢パーク

(4)ヘイトスピーチ関連
● 学習会
・10 月 29 日（土）14 時～　市労連会館 5 階講堂
　川崎、そして相模原へ「川崎市人権条例の成果と課題から、相模原は何を継承するのか」
・7 月 1 日（土）14 時から　市労連会館 5 階講堂
「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」全面施行 3 周年記念学習会
記念講演「尊厳を取り戻すまで～指紋押捺拒否から 40 年」
講師　崔善愛（チェソンエ）さん

●川崎駅前街宣・反ヘイトキャンペーン
10 月 16 日（日）13 時 30 分～川崎駅前
12 月 18 日（日）13 時 30 分～川崎駅前
2 月 19 日（日）13 時 30 分～川崎駅前
6 月 25 日（日）13 時 30 分～川崎駅前

●事務折衝

2 月 1 日（水）10 時～　市選管申し入れ

2 月 16 日（木）13 時 30 分～　人権・男女共同参画室

●事務局会議　18 時～　市職労会議室

8 月 22 日（月）、9 月 14 日（水）、10 月 18 日（火）、11 月 17 日（木）、12 月 26 日（月）、1 月 18 日（水）、2 月 21 日（火）、3 月 16 日（木）、4 月 11 日（月）、5 月 15 日（月）、6 月 9 日（金）、7 月 11 日（火）

(5)市民シンクタンクのあり方研究会―with/after コロナ・人口減少時代における市民シンクタンクの可能性について

―中断

(6)障がい者就労支援

・収蔵図書のフィルムカバーかけ　川崎ラシクル（ふくふくセンター内）

2,500 冊終了

・　㈱ノーティス矢口さんと障害者雇用促進についての調査研究

事例：㈱グローブシップ総務部（ビルメンテナンス事業）、

新潟県村上市および関川村

クラシノバ（NPO 法人 ACT-R）川崎市高津区

(7)平和と生活のつどい

●第 37 回平和と生活のつどい

日時　2 月 5 日（日）10 時～

場所　総合自治会館

テーマ　「学ぼう・考えよう！みんなのまち『かわさき』」

講演　1　「多摩川の水辺を子供たちへ」

講師　鈴木真智子さん　（かわさき水辺の楽校）

講演　2　「かわさきの街の魅力！」

講師　菊地恒雄さん（日本地名研究所事務局長）

ワークショップ　「地図を作ろう」

・実行委員会　　市民活動センターもしくはオンライン

9 月 28 日（火）10 時～

10 月 12 日（水）10 時～

11 月 21 日（月）15 時～

12 月 12 日（月）13 時～

1 月 25 日（水）13 時～
2 月 22 日（水）13 時～

●第 38 回平和と生活のつどい

開催予定：10 月 10 日（火）高津市民館
　　テーマ：給食
・実行委員会　　市民活動センターもしくはオンライン
6 月 6 日（水）13 時～　市民活動センター
7 月 28 日（金）13 時～　市民活動センター

(8)かえるプロジェクト

第 18 回総会　6 月 17 日（土）14 時～16 時
　　生活クラブ高津センター
第1部　　記念講演会
　テーマ：「知ってる？『香害』～被害者にも加害者にもならないために～　」
　講師：平賀典子日本消費者連盟、新潟医学非常勤講師
第2部　　総会
終了後　第 1 回　運営委員会

(9)提案事業

●川崎市教職員組合からの提案

◎市民文化講演会　主催　川崎教育文化研究所、（一財）川崎教職員会館、
①1 月 25 日（水）18 時 15 分～20 時
場所　川崎教職員会館、オンライン　　参加者 50 名
講演　「魂を揺さぶる本気教育
　～児童・生徒の人生と向き合うために知っておきたい 5 つの捉え方～」
講師　木下晴弘さん（㈱アビリティトレーニング代表取締役）
②2 月 25 日（土）13 時～16 時 30 分
場所　川崎市民プラザふるさと劇場　　参加者 300 名
「ゆめパのじかん」上映会＆講演会
対談　「こどものじかん」を取り戻す
　汐見稔幸（東京大学名誉教授）
　西野博之（かわさき子どもの権利条約フォーラム代表）
③3 月 30 日（木）18 時～19 時 30 分
場所　川崎教職員会館　オンライン　参加者 30 名
演題　「21 世紀の戦争とは～ウクライナ避難民の現状とこれから」

講師　マリア　ノヴィツカさん（獣医師）

●かわさき地域連合提案

川崎市の Eco な暮らしを調査する

日時　5 月 11 日（金）13 時～

かわさきエコ暮らし未来館、浮島処理場の見学等

●かわさき生活クラブからの提案

エコシティかわさきフェス 2023

テーマ：気候危機「脱炭素の実現」

開催日時

6 月 10 日（土）11 時～15 時　溝の口 eM Park 持田駐車場

　屋外体験型企画　わくわくエコ体験ワークショップ

　　11 日（日）10 時 30 分～14 時 30 分　溝の口劇場

　屋内視聴型企画　環境に関する映画上映＆若手運動家とのトークセッション

実行委員会　3 月 22 日（水）18 時～オンライン

　　4 月 13 日（木）20 時～オンライン

　　5 月 9 日（火）20 時～オンライン

　　5 月 27 日（月）20 時～オンライン

　　7 月 1 日（土）　19 時～オンライン

(10)全員参加による地域未来創造機構

●総会

・臨時総会　12 月 8 日（木）17 時～オルタ館 3 階

・定期総会　6 月 6 日(火)10 時～オルタ館 3 階

　記念講演

　　「アソシエーション活動を豊かにするために」

　　佐野充神奈川県地方自治研究センター理事長

●理事会

第 3 回　9 月 2 日（金）15 時 30 分～　オルタ館 3 階　オンライン

第 4 回　11 月 29 日（火）14 時～　オルタ館 3 階　オンライン

第 5 回　1 月 11 日（水）14 時～　オルタ館 3 階　オンライン

第 6 回　3 月 6 日（月）15 時 30 分～　オルタ館 3 階　オンライン

第 7 回　4 月 14 日（金）17 時 10 分～　オルタ館 3 階　オンライン

第 8 回　6 月 20 日（火）14 時～　オルタ館 3 階　オンライン

・学習会　3 月 30 日（木）10 時～オルタ館 3 階

基調講演　大西蓮氏（認定 NPO 自立支援センターもやい理事長）

事例報告　岡田百合子氏（はたらっく座間代表）
　　永井圭子氏（こども食堂プロジェクト＠大和代表）

(11)参加型システム研究所

●総会

5 月 30 日（火）13 時 30 分～オルタ館
記念講演「社会的連帯経済の可能性とコミュニティ・オーガナイジング」
講師：藤井敦史（立教大学社会福祉学部教授）

●市民協働の推進に向けたケアラー支援ならびにローカルコミュニティファンド研究会

・９月７日（水）15 時～　オンライン
講演：「今なぜケアラー支援なのか一埼玉でのケアラー支援条例制定の取り組み、その成果と課題」
講師：堀越栄子日本ケアラー連盟代表理事。日本女子大学名誉教授
トークセッション「行政・市民それぞれの視点からの市民協働によるケアラー支援について」
神奈川県高齢福祉課、東恵子（一社）ダブルケアサポート代表理事、中嶋圭子日本ケアラー連盟理事、小川泰子いきいき福祉会理事長
・12 月 7 日（水）13 時～オルタ館　オンライン
テーマ：「ケアに満ちた地域社会をつくろう～こども・若者ケアラーの現状と課題」
講師：斎藤真緒（立命館大学産業社会学部教授）
　　沖村有希子（若者ケアラー福祉サービス会代表）
コーディネーター
・第 4 回研究会　11 月 7 日（月）14 時～　オルタ館
テーマ：「地域ケアラー支援の活動をつくるーみちくさ亭の活動に学ぶ」
講師：布川佐登美（NPO ケアラーみちくさ代表）
・第 5 回研究会　12 月 9 日（金）14 時～　オルタ館
・第 6 回研究会　12 月 22 日（木）
・第 7 回研究会　2 月 2 日（木）第 2 回連続学習会都兼ねる（後掲）
・第 8 回研究会　3 月 7 日（火）
テーマ：「市民資本の可能性を拓く～かながわ生き活き市民基金 10 年の実践」
講師：大石高久氏（公財）かながわ生き活き市民基金専務理事
・第９回研究会　3 月 30 日（木）
・第 10 回研究会　4 月 20 日（木）

・連続学習会第 1 回
・1 月 27 日（金）16 時～　オルタ館 5 階　オンライン
テーマ：「ケアラー支援の促進　ケアラー支援条例制定に向けて
　　ケアラー・ヤングケアラー問題は身近な問題ではありませんか？」
講師　「ケアラー・ヤングケアラー問題は自分の問題」
　　中嶋圭子（日本ケアラー連盟理事）
　　「ダブルケア調査活動とその後」
　　木村満里子（神奈川ワーカーズコレクティヴ連合会理事長）
　　「W.Co 事業・活動とケアラー問題とは
　　篠崎みさ子（生活クラブ生活協同組合神奈川理事長）
・第 2 回　2 月 2 日（木）13 時～　オルタ館 3 階　オンライン
テーマ：「資金循環とコミュニティづくりー東近江・なんとノフィールドワークから」
講師　小林幸治（NPO まちポット事務局長
　　※第 7 回研究会を兼ねる
・第 3 回　「ケアラー支援条例について学ぶ」
講師　中嶋圭子（日本ケアラー連盟理事）
講演：「グローバル資本主義に対抗する支え合いの経済
　　ー社会的価値を反映させた公共調達の可能性」
講師：原田晃樹（立教大学教授・生活クラブ理事）
・連続学習会第 3 回　「ケアラー支援条例について学ぶ」
講師　中嶋圭子（日本ケアラー連盟理事）

(12)かながわ生き活き市民基金

6 月 3 日（土）かながわ生き活き市民基金評議員会 10 時～オンライン

(13)かわさき市民しきん

6 月 8 日（木）かわさき市民しきん評議員会　18 時 30 分～総合自治会館

(14)NPO しんゆり・芸術のまちづくり

8 月 27 日（土）10 時～　アートセンター夏祭り　アートセンター
8 月 30 日（火）14 時～　カフェグランデ企画委員会　麻生区役所
9 月 17 日（土）10 時～麻生子育てフェア　麻生区役所
10 月 18 日（火）10 時～　カフェグランデ企画委員会　アートセンター
2 月 19 日（日）8 時 30 分～カフェグランデ　新百合２１ホール
3 月 19 日（日）15 時～理事会

4 月 23 日（日）、5 月 5 日（金）　しんゆりステーションピアノ
5 月 17 日（水）15 時～総会
6 月 28 日（水）14 時～　交流カフェ　アートセンター
7 月 4 日（火）15 時～理事会　麻生区役所

（15）寺島文庫カフェ・勁草塾・民権かながわ

●文庫カフェ

・11 月 11 日（金）18 時 25 分～　ビジョンセンター田町
「プーチン戦争の論理」
　下斗米伸夫（神奈川大学特別招聘教授）
・12 月 9 日（金）18 時 25 分～　ビジョンセンター田町
「大国の横道と小国の矜持―ロシアのウクライナ進行をめぐるリトアニア島隣国の反応と日本にとっての教訓とは」
重枝豊栄（元リトアニア大使）
・2 月 10 日（金）18 時 25 分～　ビジョンセンター田町
「新年度予算と財政」
前田努（財務省主計局次長）
・4 月 14 日（金）18 時 30 分～ビジョンセンター田町
「断絶」のアメリカその境界線に住む～ペンシルバニア州からの報告
大島隆朝日新聞記者
・7 月 14 日（金）18 時 30 分～ビジョンセンター田町
「我が国の財政―不都合な真実」
矢野康治前財務省事務次官・神奈川大学特別招聘教授

●勁草塾・民権かながわ

12 月 9 日（月）18 時 20 分～　神奈川大学みなとみらいキャンパス
「2023 年の展望を語る」
寺島実郎（一財）日本総合研究所会長
・2 月 20 日（月）18 時 30 分～　ワークピア
野田佳彦（元総理大臣）

（16）川崎・富川市民交流会

11 月 11 日　富川市長来川歓迎会　19 時～煌蘭
3 月 17 日（金）　富川・川崎市民交流会　朴正善さん来川
5 月 22 日（金）富川・川崎市民交流会
6 月 12 日（月）学習会　　ミューザ川崎会議室

石坂浩二立教大学教授　韓国の市民運動の現状について

●2023 韓国・富川ツアー

主催　　一般社団法人 川崎地方自治研究センター、川崎・富川市民交流会
期間　　2023 年 7 月 20 日（木）～23 日（日）3 泊 4 日
テーマ：韓国の今と昔を知る！　女性の政治参加は、日韓の共通課題です
参加者　12 人
日程
１日目　7 月 20 日（木）羽田空港集合。金浦空港到着。
15：00 趙甬翼（チョウ・ヨンイク）市長表敬訪問　富川市庁迎賓室
16：00 崔順永（チェ・スニョン）元富川市議会議員記念講演　教育センター
「女性の政治参加について」
18：00 富川市民交流会と今後の交流について懇談
２日目　7 月 21 日（金）韓国現代文化と富川市政を知る
9：30　生涯学習事業について　　富川市平生学習センター
コ・ヒジョン平成教育課長、朴正善（パク・チョンソン）他
13：00 富川市民聯合と交流　崔在淑（チェ・ジェスク）会長他
市民聯合事務所
15：00 富川アートセンター見学
３日目　7 月 22 日（土）歴史を知る　天安（チョナン）市へ借上バスで移動
堤岩里（チェアム）教会　3.1 独立運動後の虐殺事件教会焼打ち記念館
活動家　李ヨンギル元労働党首の案内
独立紀念館　東学農民革命烈士の墓碑　柳寛順（ユ・グァンスン）烈士記念館
アヒナム教会記憶と平和のための 1923 歴史館　金鐘洙（キム・ジョンス）館長
大韓基督天安教会
４日目　7 月 23 日（日）バス借り上げ
10：30　ソウル市　植民地歴史博物館
14：00　富川市　パール・バック記念館
15：30　バンクアート美術館　旧清掃処理工場再利用
ソウル市泊
５日目　7 月 24 日（月）
10：30　国立博物館
12：00　梨泰院事故現場視察
帰国

(16)その他

●市民館・図書館の指定管理化に関する連続学習会

8 月 28 日（日）13 時 30 分～　教育文化会館　オンライン参加
自治研Ｃ発行「川崎の社会教育」を読む

●横浜自治研センター
12 月 12 日（月）18 時～　自治労横浜会館
「横浜特別市について」
横浜市政策局大都市制度推進本部制度企画課

●アリスセンターシンポジウム
4 月 22 日（土）10 時～18 時
セッション１　「なぜ私たちはＮＰＯを求めたのか」
進行　佐野充さん（神奈川県自治研究センター理事長）
基調講演　播磨靖夫さん
（一財）タンポポの家理事長
登壇者　西野博之さん（認定 NPO フリースペースたまりば理事長）
　　鷲尾公子さん（認定 NPO ぐるーぷ藤理事長）
　　礒ちず子さん（よこはまかわを考える会）
　　土屋真美子さん（アリスセンター初代事務局長）
セッション２　「市民社会の技術」
進行　饗庭伸さん（東京都立大学教授、アリスセンター2 代理事長）
コメンテーター　竹井斎さん（認定 NPO アクト川崎理事）
　　原美紀さん（認定 NPO びーのびーの事務局長）
セッション３　「私たちの社会はどこに向かうのか？～市民社会の現在とこれから」
進行　中嶋智人さん（産業能率大学教授、アリスセンター元理事）
登壇者　伊吾田善行さん（認定ＮＰＯ市民セクターよこはま理事、横浜市市民協働推進センター長）
　　北川有紀さん（ＮＰＯ横浜市民アクト、ほどがや市民活動センター（アワーズ）センター長）
　　高城芳之さん（ＮＰＯアクションポート横浜代表理事）

5. その他事業

(1)財政白書について

市職労自治体政策部との共同で「財政白書」を作成していますが、コロナ対策に関わる費用が国からのこれまでの慣行を著しく超えた補助金がつぎ込まれ、

その使途も含め、過去と比較することが困難になっています。コロナ化が収まり、コロナ関連の補助金が落ち着くまでは、総務省発表の各都市決算カードによるデータ作成と解析にとどめています。
・2021 年度決算カードの処理と分析

(2)市職労アーカイブス事業

・機関紙データ化
創刊号から現在までの市職労機関紙のデータ化を終了しました。
・記録写真データ化
散逸する恐れのある記録写真をデータ化し、資料作成などの参考資料にします。

(3)ホームページ

ホームページは毎月情報を更新しています。閲覧数は、1600 回/月となっていて、主に市政情報がみられています。

(4)「市政ウォッチャー」

市政の最新の情報を中心にホームページで発信しています。退職後、市政に関する情報が得られにくくなっている川崎市職員退職者会に対して情報提供をしています。

(5)調査受け入れ

10 月 27 日（木）法政大学田島淳子ゼミ　川崎市の外国人施策について
11 月 16 日（水）立教大学上林陽司教授ゼミ　ヘイトスピーチについて
市民文化局人権男女共同参画室、ふれあい館
1 月 10 日（火）神奈川大学学生卒論調査　おうひん地区について
1 月 11 日（水）金智美（韓国・慶南大学社会福祉学科教授・自治研 C 研究員）
川崎市の高齢者福祉について
宮前区地域みまもり支援センター、るーむら麻生
6 月 13 日（火）多文化共生リソースセンター土井佳彦さん
おうひん地区問い合わせ
6 月 15 日（木）ラウラ・クルーグさん筑波大学院ドイツ人留学生
在日コリアンについて
7 月 3 日（月）～12 日（水）
金智美（韓国・慶南大学社会福祉学科教授・自治研 C 研究員）
健康福祉局地域包括ケア推進室、麻生区地域ケア推進課

(6)購入図書
購入図書について、随時ホームページで紹介しています。

(7)活動日誌　　別紙

5. 予算執行状況

(1)予算執行表　別紙

(2)収益について
・35 周年事業の実施に伴い引当金 200 万円の取り崩しを予定していましたが、事業延期に伴い減額いたします。次年度以降、この項目について見直します。
・各種事業を延期または中止したことにより、分担金収入は見込めません。
・自治労会館の研究助成金を申請（30 万円）したことにより、受託事業収入が大幅に増えました。

(3)費用について
・2022 年度も引き続く新型コロナウィルス感染拡大防止対策などにより延期または中止した事業が多くありましたが、会員団体の提案事業、川崎・富川市民交流会の富川市ツアーの実施、子ども権利条約フォーラムなど他団体との連携に取り組み啓発事業費の執行率は 80.2%になっています。
・講演会など自主事業が取り組めず、諸謝金などの執行率が低くなっています。
・事業費全体の執行率は、79.8%になっています。
・管理費は、事務室賃借料・光熱水費などの固定的費用が中心で、執行率は 81.9%になっています。

(4)残余額について
・残余額（収益合計―費用合計）は、178 万円となる見込みで、繰越します。

議案第2号　2022年度決算報告

2022年8月1日から2023年7月31日まで

単位　円

	予算額(A)	執行済額(B)	差額(A-B)	執行率
経常収益合計	18,941,000	16,890,170	2,050,830	89.2%
受取会費	16,870,000	16,590,000	280,000	98.3%
団体正会員	16,840,000	16,550,000	290,000	98.3%
個人正会員	20,000	20,000	0	100.0%
賛助会員	10,000	20,000	△ 10,000	200.0%
受託事業収入	10,000	300,000	△ 290,000	3000.0%
分担金収入	50,000	0	50,000	0.0%
雑収入	11,000	170	10,830	1.5%
受取利息	1,000	170	830	17.0%
雑収入	10,000	0	10,000	0.0%
その他収益	2,000,000	0	2,000,000	0.0%
引当金取崩益	2,000,000	0	2,000,000	0.0%
経常費用合計	18,941,000	15,108,269	3,832,731	79.8%
事業費	13,351,000	10,532,390	2,818,610	78.9%
給与手当	3,800,000	2,880,000	920,000	75.8%
福利厚生費	80,000	69,300	10,700	86.6%
旅費交通費	700,000	649,070	50,930	92.7%
通信運搬費	50,000	43,520	6,480	87.0%
消耗品費	150,000	141,059	8,941	94.0%
印刷製本費	200,000	0	200,000	0.0%
賃借料	430,000	396,312	33,688	92.2%
会議費	100,000	0	100,000	0.0%
諸謝金	600,000	347,000	253,000	57.8%
啓発事業費	5,340,000	4,281,302	1,058,698	80.2%
支払負担金	200,000	194,123	5,877	97.1%
図書・資料費	250,000	230,104	19,896	92.0%
委託費	1,300,000	1,300,000	0	100.0%
事務局費	100,000	0	100,000	0.0%
雑費	51,000	600	50,400	1.2%
管理費	5,590,000	4,575,879	1,014,121	81.9%
役員報酬	840,000	600,000	240,000	71.4%
給与手当	0	0	0	
福利厚生費	360,000	312,725	47,275	86.9%
旅費交通費	100,000	52,000	48,000	52.0%
通信運搬費	180,000	106,750	73,250	59.3%
消耗品費	50,000	19,088	30,912	38.2%
印刷製本費	50,000	0	50,000	0.0%
賃借料	2,700,000	2,644,268	55,732	97.9%
会議費	80,000	11,880	68,120	14.9%
諸謝金	300,000	209,000	91,000	69.7%
支払負担金	150,000	98,000	52,000	65.3%
租税公課	30,000	20,000	10,000	66.7%
修繕費	50,000	0	50,000	0.0%
光熱水料費	500,000	470,124	29,876	94.0%
什器備品費	100,000	0	100,000	0.0%
雑費	100,000	32,044	67,956	32.0%
その他費用	0	0	0	
引当金繰入	0	0	0	
当期経常増減額	0	1,781,901	△ 1,781,901	
経常外収益	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
正味財産期首残高	20,905,420	20,905,420	0	

正味財産期末残高	20,905,420	22,687,321	△ 1,781,901	

2022年度正味財産増減計算書

2022年8月1日から2023年7月31日まで

単位　円

	当年度（2022）	前年度（2021）	増　減
経常収益合計	16,890,170	16,686,902	203,268
受取会費	16,590,000	16,590,000	0
団体正会員	16,550,000	16,550,000	0
個人正会員	20,000	30,000	△ 10,000
賛助会員	20,000	20,000	0
受託事業収入	300,000	0	300,000
分担金収入	0	0	0
雑収入	170	96,902	△ 96,732
受取利息	170	170	0
雑収入	0	96,732	△ 96,732
その他収益	0	0	0
引当金取崩益		0	0
経　常　費　用　合　計	15,108,269	14,598,482	509,787
事業費	10,532,390	9,925,713	606,677
給与手当	2,880,000	2,975,000	△ 95,000
福利厚生費	69,300	53,040	16,260
旅費交通費	649,070	448,760	200,310
通信運搬費	43,520	0	43,520
消耗品費	141,059	30,831	110,228
印刷製本費	0	200,000	△ 200,000
賃借料	396,312	418,722	△ 22,410
会議費	0	0	0
諸謝金	347,000	366,000	△ 19,000
啓発事業費	4,281,302	3,688,273	593,029
支払負担金	194,123	183,800	10,323
図書・資料費	230,104	248,419	△ 18,315
委託費	1,300,000	1,300,000	0
事務局費	0	0	0
雑費	600	12,868	△ 12,268
管理費	4,575,879	4,672,769	△ 96,890
役員報酬	600,000	600,000	0
給与手当	0	0	0
福利厚生費	312,725	303,583	9,142
旅費交通費	52,000	45,000	7,000
通信運搬費	106,750	158,959	△ 52,209
消耗品費	19,088	16,783	2,305
印刷製本費	0	45,760	△ 45,760
賃借料	2,644,268	2,655,188	△ 10,920
会議費	11,880	15,840	△ 3,960
諸謝金	209,000	249,600	△ 40,600
支払負担金	98,000	85,000	13,000
租税公課	20,000	10,000	10,000
修繕費	0	0	0
光熱水料費	470,124	424,654	45,470
什器備品費	0	4,480	△ 4,480
雑費	32,044	57,922	△ 25,878
その他費用	0	0	0
引当金繰入	0	0	0
当　期　経　常　増　減　額	1,781,901	2,088,420	△ 306,519
経　常　外　収　益	0	0	0
経　常　外　費　用	0		0
当　期　経　常　外　増　減　額	0	0	0
正　味　財　産　期　首　残　高	20,905,420	18,817,000	2,088,420

正味財産期末残高	22,687,321	20,905,420	1,781,901

貸　借　対　照　表

2023年7月31日

単位　円

科　　目	当年度（2022）	前年度（2021）	増　減
Ⅰ　資産の部	22,750,635	20,979,173	1,771,462
1　流動資産	22,749,135	20,977,673	1,771,462
普通預金	12,747,946	10,955,841	1,792,105
定期預金	10,001,189	10,001,019	170
現金	0	20,813	△ 20,813
2　固定資産	1,500	1,500	0
（1）基本財産	0	0	0
（2）特定資産	0	0	0
（3）その他の固定資産	1,500	1,500	0
電話加入権	1,500	1,500	0
Ⅱ　負債の部	63,314	73,753	△ 10,439
1　流動負債	63,314	73,753	△ 10,439
未払金	25,113	0	25,113
預り金	38,201	73,753	△ 35,552
2　固定負債	0	0	0
周年事業引当金	0	0	0
Ⅲ　正味財産	22,687,321	20,905,420	1,781,901
1　指定正味財産	0	0	0
2　一般正味財産	22,687,321	20,905,420	1,781,901
負債及び正味財産の部合計	22,750,635	20,979,173	1,771,462